

排水路基礎改良工総括表

工事区分 (LEVEL1)	工種 (LEVEL2)	種別 (LEVEL3)	細別 (LEVEL4)	規格・寸法 (LEVEL5)	単位	数量	摘要		
排水	カルバート工	排水土工	一次掘削	礫混じり土	m ³	802.69			
			掘削・運搬	礫混じり土 防災緑地 D=315m	m ³	1,295.79			
			掘削・運搬	礫混じり土 仮置土 D=315m	m ³	1,295.79			
			流用土盛土	礫混じり土 薬液注入工ヤード	m ³	1,295.79			
			盛土敷均し	礫混じり土 仮置場	m ³	1,295.79			
			流用土盛土	礫混じり土 防災緑地	m ³	1,303.39			
			基礎改良工	薬液注入工	二重管ストレーナー工法単層方式 シリカゲル系溶液型瞬結剤 スラブ注入工 削孔長7.00m	本	102		
					二重管ストレーナー工法単層方式 シリカゲル系溶液型瞬結剤 ソトゾーン注入工 削孔長7.25m	本	54		
					二重管ストレーナー工法単層方式 シリカゲル系懸濁型瞬結剤 復元注入工 削孔長7.25m	本	448		
					排水汚濁処理工（アルカリ中和 装置運転）	日	58		
				注入設備据付・解体工 （用）	組	2			
				機械賃料	注入機械移動用 トラッククレーン25t吊	式	1	賃料日数58日	
			ボックスカルバート補修工	調整コンクリート	21-8-25BB	m ³	1.566		
				コンクリートハツリ工	3cm以下	m ²	15.43		
				支保工	パイプ支保 60kn/m ²	空m ³	100.31		
				マンホール補修工	コンクリート	人力 24-8-25BB	m ³	0.219	
					コンクリート取り壊し	有筋コンクリート	m ³	0.219	
					殻運搬処理	有筋コンクリート	t	0.526	
			水替工	ポンプ排水	常時時排水3インチ ホース長60m×2	日	61		
		付帯工	法面整形工	盛土法面整形	軟岩	m ²	348		
			土砂流出防止工	土のう	大型どのう 設置撤去	袋	12		
			工事用道路工	敷鉄板設置・撤去	1524×6096×22	枚	34		
				敷鉄板賃料		式	1		
	防災施設工		暴風垣撤去・復旧	H=1.20m 木材再利用	m	10			
	中低木移植工		中低木仮植	H=0.5m	本	103	クロマツ15本、常緑広葉樹88本		
			中低木移植	H=0.5m	本	103	クロマツ15本、常緑広葉樹88本		
			土壤改良工		箇所	88	常緑広葉樹のみ		
			樹木運搬	H=0.5m L=12.2km	本	206			
	管清掃工		浚渫工	バキューム吸引 人力清掃	m ³	26.87			
			汚泥処分	m ³	26.87				
共通仮設	共通仮設費	技術管理費	函渠変位観測工	変位ロッド設置工（D22 平均削孔長3.77m）	本	28			
				測量工（変位ロッド/函内測量工）	日	58			
				管内レーザー測量	式	1	3ヶ月		
			地盤変位計測工	自動追尾測定	式	1	計測器設置・撤去 計測3ヶ月 発電機3ヶ月		

沈下函渠復元注入工 施工数量

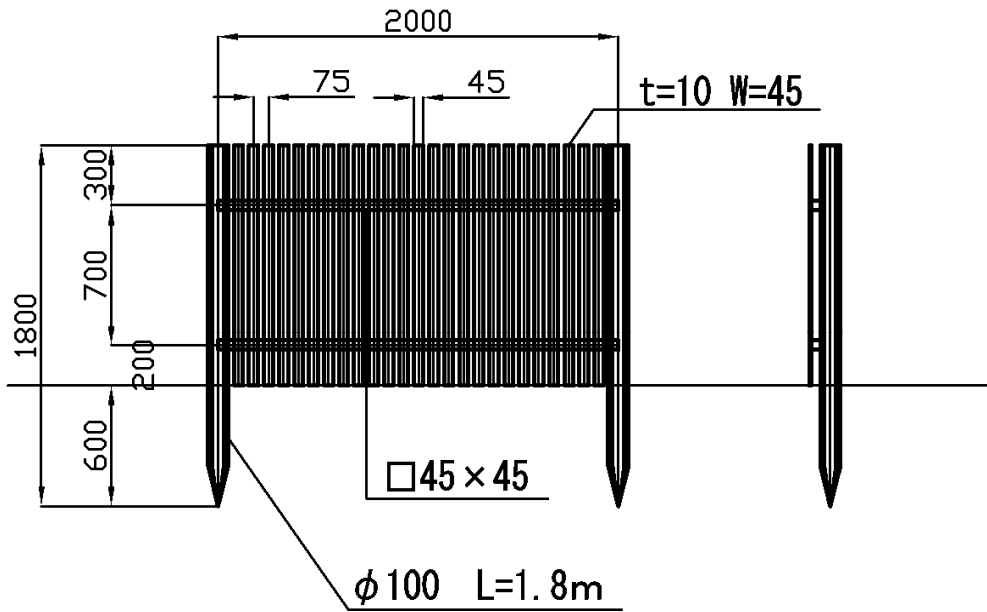
工 種	施工区分	数 量 算 出				備 考
		分 類	項 目	計 算 式	数 量	
薬液注入工		施工体制			8 セット	
	スラブ注入工	施工仕様	注入工法	二重管スレーナ工法単相方式 シリカゲル系溶液型瞬結材		移動準備時間：標準14分
			注 入 率	$\lambda = 45.0 \%$		
			削 孔 長	$L = 7.00$	7.00 m/孔	
			注 入 長	$L1 = 1.00$	1.00 m/孔	25cm/ステップ°×4ステップ°
			土被り引抜長	$L2 = L - L1 = 7.00 - 1.00 = 6.00$	6.00 m/孔	
		注 入 量	改良対象土量	$V = 3.00 \times 1.00 \times 50.74 = 152.22$	152.22 m ³	
			注 入 量	$Q = 152.22 \times 45.00 / 100 = 68.50$	68.50 kl	
		注 入 工	注入孔数	$N = 51 \times 2 = 102$	102 本	
			削 孔 長	$L = 7.00 \times 102 = 714.00$	714.00 m	
			注 入 長	$L1 = 1.00 \times 102 = 102.00$	102.00 m	
			土被り引抜長	$L2 = L - L1 = 714.00 - 102.00 = 612.00$	612.00 m	
		1孔当り注入量		$q = Q / N = 68.50 / 102 \times 1,000 = 672$	672 リットル	規定量注入
	ソフトゾーン注入工	施工仕様	注入工法	二重管スレーナ工法単相方式 シリカゲル系溶液型瞬結材		移動準備時間：標準14分
			削 孔 長	$L = 7.25$	7.25 m/孔	
			注 入 長	$L1 = 0.00$	0.00 m/孔	注入中のロッド引上げ無し
			土被り引抜長	$L2 = L - L1 = 7.25 - 0.00 = 7.25$	7.25 m/孔	
		1孔当り注入量		$q = 500$	500 リットル	規定量注入
		注 入 工	注入孔数	$N = 27 \times 2 = 54$	54 本	
			削 孔 長	$L = 7.25 \times 54 = 391.50$	391.50 m	
			注 入 長	$L1 = 0.00 \times 54 = 0.00$	0.00 m	

工 種	施工区分	数 量 算 出				備 考
		分 類	項 目	計 算 式	数 量	
			土被り引抜長	$L2 = L - L1 = 391.50 - 0.00$	$= 391.50 \text{ m}$	
		注 入 量	注 入 量	$Q = 500 / 1,000 \times 54$	$= 27.00 \text{ kl}$	
	復元注入工	施工仕様	注入工法	二重管スレーナ工法単相方式 シリカゲル系懸濁型瞬結材		移動準備時間：大移動45分
			削 孔 長	$L = 7.25$	7.25 m/孔	
			注 入 長	$L1 = 0.00$	0.00 m/孔	注入中のロッド引上げ無し
			土被り引抜長	$L2 = L - L1 = 7.25 - 0.00$	$= 7.25 \text{ m/孔}$	
		注 入 量	注 入 量	$Q = 19.19 \times 3.00 \times 1.50$	$= 86.40 \text{ kl}$	
		注 入 工	復元ステージ数	$Ns = 59$	$= 59 \text{ ステージ}$	
			注入孔数	$N = 8 \times 50 + 6 \times 6 + 4 \times 3$	$= 448 \text{ 本}$	
			削 孔 長	$L = 7.25 \times 448$	$= 3,248.00 \text{ m}$	
			注 入 長	$L1 = 0.00 \times 448$	$= 0.00 \text{ m}$	
			土被り引抜長	$L2 = L - L1 = 3,248.00 - 0.00$	$= 3,248.00 \text{ m}$	
			1孔当り注入量	$q = Q / N = 86.40 / 448 \times 1,000$	$= 193 \text{ リットル}$	復元量5cm/ステージまで
	注入工数量合計	注 入 量	シリカゲル系溶液型瞬結材	$\Sigma Q1 = 68.50 + 27.00$	$= 95.50 \text{ kl}$	
			シリカゲル系懸濁型瞬結材	$\Sigma Q2 = 86.40$	$= 86.40 \text{ kl}$	
			合 計	$\Sigma Q = 95.50 + 86.40$	$= 181.90 \text{ kl}$	
			注入孔数	$\Sigma N = 102 + 54 + 448$	$= 604 \text{ 本}$	
	注入設備据付解体工		4セット用	$N = 2$	$= 2 \text{ 組}$	
		排水汚泥土処理費	アルカリ中和装置運転	$D = 7 + 4 + 29 + 2$	$= 42 \text{ 日}$	
		コンクリート取壊し工		$V = 0.14 + 0.08$	$= 0.22 \text{ m}^2$	
		コンクリート工	24N, 人力打設	$V = 0.14 + 0.08$	$= 0.22 \text{ m}^3$	

単位数計算書

防風垣撤去・復旧

10m 当り

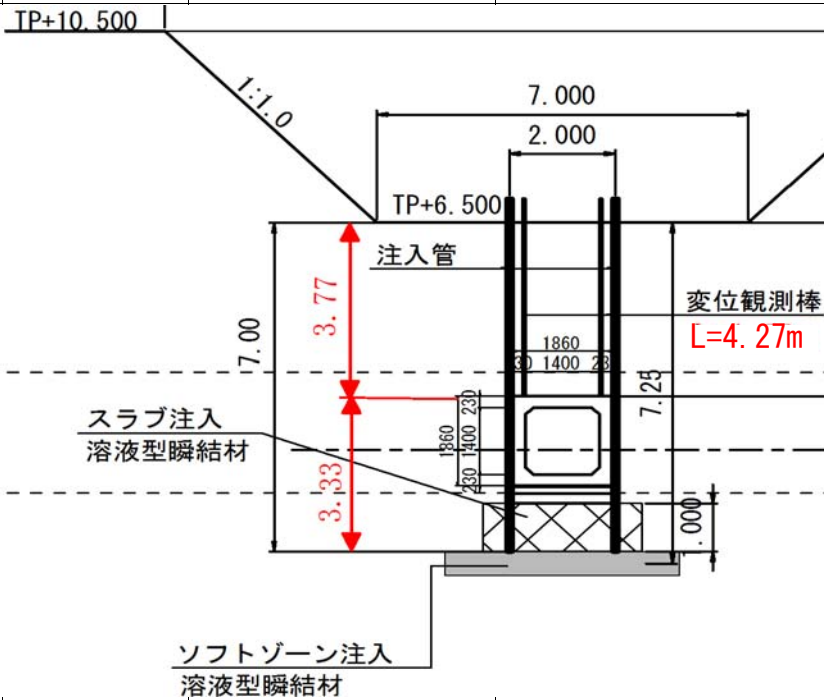


名称	算式	数量	単位
防風垣			
支柱 $\phi 100$ L=1.80m	10.00/2.00	5.000	本
	$0.05 \times 0.05 \times 3.141 \times 1.80 = 0.014\text{m}^3/\text{本}$ $0.014 \times 5 =$	0.070	m ³
張 $\square 45 \times 45$ 2段	10.00 \times 2	20.000	m
	$0.045 \times 0.045 \times 20.00$	0.041	m ³
暴風壁材	1.80 \times 10.00	18.000	m ²
	$18.00 \times (0.045/0.120) \times 0.010$	0.068	m ³

数量計算書

共通仮設

種別	細別	規格・寸法	数量	単位
技術管理費	函渠変位観測工	変位ロッド設置工 (D22 平均削孔長3.77m)	変移棒D22 L=4.27m× 3.04kg/m=12.98kg/本	28 本
		変位ロッド 函内測量工		58 日
		管内レーザー測量	3ヶ月想定	1 式
	地盤変位計測工	自動追尾測定	計測器設置・撤去 計測3ヶ月 発電機3ヶ月	1 式



薄磯地区ボックスカルバート調査

ボックス断面	対策区分	名称	製品長	薄磯地区						備考
				I	II	IV	V	VI	計	
□-600×600	塩害対策区分外	標準用	2000			11	5		16	
		点検孔	2000(φ600、妻壁付)			1	1		2	
		調整用	1169				1		1	
			1106			2			2	
	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000				11		11	
□-700×700	塩害対策区分無	標準用	2000		21				21	
		点検孔	2000(φ700)		2				2	
			2000(φ700、妻壁付)		1				1	
		調整用	1339		1				1	
		片斜用	1329/1288		1				1	
			845/769		2				2	
	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000		2				2	
		調整用	1000		1				1	
		片斜用	1450/1414		1				1	
□-900×700	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000				20		20	
		片斜用	1081/935				1		1	
□-900×900	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000					17	17	
		調整用	1353					2	2	
	塩害対策区分Ⅱ	標準用	2000					13	13	
		片斜用	1900/1797					1	1	
□-1000×1000	塩害対策区分無	標準用	2000	36					36	
		調整用	1418	1					1	
		調整用	1250	1					1	
		片斜用	1080/1250	1					1	
	塩害対策区分Ⅱ	標準用	2000					9	9	
		調整用	1000					1	1	
		片斜用	1338/1227					1	1	
	塩害対策区分S・I	標準用	2000					14	14	
	□-1200×700	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000				16		16
調整用			1000				1		1	
片斜用			1277/772				1		1	
塩害対策区分Ⅱ		標準用	2000				2		2	
□-1200×1000	塩害対策区分Ⅱ	標準用	2000				22		22	
		調整用	1543				1		1	
	塩害対策区分S・I	標準用	2000				3		3	
□-1200×1200	塩害対策区分無	標準用	2000		12				12	
		片斜用	1854/1843		1				1	
	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000		2				2	
		片斜用	1900/1796		1				1	
	塩害対策区分S・I	標準用	2000					10	10	
		調整用	1204					1	1	
□-1300×1300	塩害対策区分無	標準用	2000	6		38			44	
		調整用	1224	1					1	
			1000	1					1	
		点検孔	2000(φ600)			1			1	
	片斜用	984/976			1			1		
□-1300×1300	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000		44				44	
		調整用	1631		1				1	
			1265		1				1	
	塩害対策区分Ⅱ	標準用	2000		9				9	
		点検孔	2000(φ900)		1				1	
		調整用	1533		1				1	
		片斜用	863/1127		2				2	
□-1400×1000	塩害対策区分S・I	標準用	2000				19		19	
		点検孔	2000(φ900)				1		1	
		調整用	1521				1		1	
			1000				1		1	

薄磯地区ボックスカルバート調査

ボックス断面	対策区分	名称	製品長	薄磯地区						備考
				I	II	IV	V	VI	計	
□-1400×1400	塩害対策区分無	標準用	2000			26			26	
		片斜用	603/648			1			1	
	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000			44			44	
		調整用	1379			1			1	
			1470			1			1	
			1375			1			1	
		片斜用	1828/985			2			2	
			920/1015			1			1	
	塩害対策区分Ⅱ	標準用	2000		12	24			36	
		調整用	1528			2			2	
			1059		1				1	
	塩害対策区分S・I	標準用	2000		24	21			45	
		点検孔	2000(φ900)			1			1	
		調整用	1295			1			1	
			1282			2			2	
			1096		1				1	
□-1500×1300	塩害対策区分無	標準用	2000	28					28	
		点検孔	1898(φ900)	1					1	
		調整用	1000	1					1	
			982/1608	1					1	
		片斜用	932/1558	1					1	
			682/1308	2					2	
□-1800×1600	塩害対策区分無	片斜用	975/1750			1			1	
□-1900×1400	塩害対策区分無	標準用	2000	75					75	
		点検孔	2000(φ900)	3					3	
		調整用	1670	1					1	
			1458	1					1	
			1007	1					1	
			1000	2					2	
		片斜用	1335/952	1					1	
			1435/1052	1					1	
			1895/1606	2					2	
			1596/1354	2					2	
	1683/1287		2					2		
	塩害対策区分Ⅲ	標準用	2000	48					48	
		点検孔	2000(φ900)	1					1	
		片斜用	1770/1220	2					2	
	塩害対策区分Ⅱ	標準用	2000	21					21	
		調整用	1265	2					2	
			1097	1					1	
		片斜用	1770/1220	2					2	
	塩害対策区分S・1	標準用	2000	8					8	
□-2000×1400	塩害対策区分S・I	標準用	2000	15					15	
		調整用	1158	2					2	
			①	274	145	183	107	69	778	
高弾性接着材	人孔等控除数	箇所	②	7	6	9	5	3	30	
		箇所	①-②	267	139	174	102	66	748	